

製品安全データシート

会社：株式会社パーキンエルマージャパン
住所：〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F
TEL: 045-339-5864 FAX: 045-339-5874
緊急連絡先： 同上
作成・改訂日： 2009年9月7日

| | | |
|--------------|---------|--------|
| 製品名 | 製品コード | 包装 |
| Flo-Scint II | 6013529 | 2x 5 L |

組成・成分情報

| 物質名 | 含有量 | CAS No. |
|--|-----------|------------|
| Ethoxylated alkyl phenol | 20 - 40 % | 9016-45-9 |
| Solvent naphtha (petroleum) | 20 - 40 % | 64742-95-6 |
| 1,2,4-Trimethylbenzene (Pseudocumene) | 20 - 40 % | 95-63-6 |
| 2,5-Diphenyloxazole (PPO) | 0 - 1 % | 92-71-7 |
| 1,4-Bis (2-methylstyryl) benzene (bis-MSB) | 0 - 1 % | 13280-61-0 |

危険・有害性情報

危険物種類 有害
分類 危険物第四類
分類 第二石油類
分類 非水溶性液体
危険物等級 III
危険物等データベース登録番号 4041-160772

応急措置

医師へのアドバイス： HMISにおける商品の組成については、本シートの組成・成分情報に記載
皮膚に付着した場合： 着用していた衣服を脱ぎ、患部周辺を石鹼水でよく洗う。
目に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗眼し、必要に応じて眼科医の処置をうける。
飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませて吐かせる。意識がない時は何も与えず、直ちに医師の処置を受ける。
吸入した場合： 直ちに空気が新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸困難または呼吸が停止している時は直ちに人工呼吸を行う。

火災時の措置

消火剤： 粉末・二酸化炭素・泡消火器
消火方法： 完全防護服を着用する
出火・爆発による危険： 出火時に発生する一酸化炭素

漏出時の措置

必ず防護服を着用し、下水・河川への漏出を防ぎ、漏出した場合は直ちに各当局へ連絡すること。
ろ紙、砂、土壌など化学変化を起こさない吸収剤で取り除く。汚染物質は規定に従い廃棄する。十分な換気を行う。

取扱及び保管上の注意

換気の良い場所で作業する。静電気を防止し、火気を近づけないようにする。容器は直射日光を避け、涼しく乾燥した場所に保管し、密閉して空気との接触を避ける。

暴露防止及び保護措置

許容濃度 1,2,4-Trimethylbenzene (Pseudocumene) - ACGIH TLV : 25 ppm

保護具

呼吸器： 汚染された場所や爆発時は呼吸マスクを用いる。

手の保護： 防護手袋

目の保護： 防護眼鏡またはゴーグル

皮膚の保護： 防護服の着用

物理的及び化学的性質

外見：液体 色：無色 臭い：芳香
融点：- 44 沸点：170 引火点：46 発火点：520
揮発性：なし 蒸気圧 (20)：3 mm Hg 蒸気密度：4.8
爆発の危険性：Flo-Scint II自体はないが、揮発物と空気の混合物は危険性あり
密度 (20)：0.92 g/cm³ 水中溶解度 (20)：溶解しない
酸性度 (20)：情報なし
反応性
配合禁忌 強酸化剤 危険な反応 既知の危険な反応はない
有害な分解生成物 一酸化炭素

有害性情報

化合物：ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル (Ethoxylated alkyl phenol)

CAS No.9016-45-9

刺激性

皮膚、粘膜及び眼に対する刺激性

急性毒性

経口： ラット LD₅₀ = 4 g/kg

経口： マウス LD₅₀ => 50 g/kg

経皮： ウサギ LD₅₀ = 2 g/kg

1)化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)： 第一種指定化学物質 施行令第1条別表第1
番号309(新番号410 平成21年10月1日以降)

ブソイドキュメン (1,2,4-Trimethylbenzene) 95-63-6

急性毒性

経口： ラット LD₅₀ = 5 g/kg

1)労働安全衛生法： 施行令第18条の2別表第9の404

2)化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)： 第一種指定化学物質 (施行令第1条別表第1
番号296、 平成21年10月1日以降新規対象)

環境影響情報

水生生物(魚類・プランクトン)に有毒

廃棄方法

自己処理ができない場合、都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

国連番号

危険物クラス3: 引火性液体 UN1993, 容器等級III

本製品安全データシート(MSDS)は、入手した情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけではありませんので、お取扱には十分ご注意ください。本MSDSの記載内容は、情報提供であり当該化学物質の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。